

2026年1月25日

## 主日礼拝

### 《礼拝》

礼拝讃美歌⇒425番（旧529番）（SK姉）

『聞けや愛のことばを』

聖書⇒ヨシュア記24章16~17, 22~24節（MM姉）

『民は答えた。「主を捨てて、ほかの神々に仕えることなど、するはずがありません。わたしたちの神、主は、わたしたちとわたしたちの先祖を、奴隷にされていたエジプトの国から導き上り、わたしたちの目の前で数々の大きな奇跡を行い、わたしたちの行く先々で、またわたしたちが通って来たすべての民の中で、わたしたちを守ってくださった方です。」』

ヨシュアは民に言った。「あなたたちが主を選び、主に仕えるということの証人はあなたたち自身である。」彼らが、「そのとおり、わたしたちが証人です」と答えると、「それではあなたたちのもとにある外国の神々を取り除き、イスラエルの神、主に心を傾けなさい」と勧めた。民はヨシュアに答えた。「わたしたちの神、主にわたしたちは仕え、その声に聞き従います。」』

（祈り）

礼拝讃美歌⇒513番

『新しき地に』

聖書⇒コリントの信徒への手紙一1章18~19節（KT姉）

『十字架の言葉は、滅んでいく者にとっては愚かなものですが、わたしたち救われる者には神の力です。それは、こう書いてあるからです。「わたしは知恵ある者の知恵を滅ぼし、／賢い者の賢さを意味のないものにする。」』

聖書⇒コリントの信徒への手紙一2章4~5節

『わたしの言葉もわたしの宣教も、知恵にあふれた言葉によらず、“霊”と力の証明によるものでした。それは、あなたがたが人の知恵によってではなく、神の力によって信じるようになるためでした。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 6章 43~48 節

『イエスは答えて言われた。「つぶやき合うのはやめなさい。わたしをお遣わしになった父が引き寄せてくださらなければ、だれもわたしのもとへ来ることはできない。わたしはその人を終わりの日に復活させる。預言者の書に、『彼らは皆、神によって教えられる』と書いてある。父から聞いて学んだ者は皆、わたしのもとに来る。父を見た者は一人もいない。神のもとから来た者だけが父を見たのである。はっきり言うておく。信じる者は永遠の命を得ている。わたしは命のパンである。』

(祈り)

礼拝讃美歌⇒283 番 (KH 兄)

『神の全き安けさは』

## 《パン裂き》

聖書⇒ヨハネによる福音書 6章 53~57 節 (KH 兄)

『イエスは言われた。「はっきり言うておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠の命を得、わたしはその人を終わりの日に復活させる。わたしの肉はまことの食べ物、わたしの血はまことの飲み物だからである。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、いつもわたしの内におり、わたしもまたいつもその人の内にいる。生きておられる父がわたしをお遣わしになり、またわたしが父によって生きるように、わたしを食べる者もわたしによって生きる。』

(式)

礼拝讃美歌⇒355 番 (旧 304 番)

『主はいのちを』

## 《建徳》

聖書⇒コリントの信徒への手紙二 5章 17節 (NH 兄)

『だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 6章 4~8節

『わたしたちは洗礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に生きるためなのです。もし、わたしたちがキリストと一体になってその死の姿にあやかるならば、その復活の姿にもあやかれるでしょう。わたしたちの古い自分がキリストと共に十字架につけられたのは、罪に支配された体が滅ぼされ、もはや罪の奴隷にならないためであると知っています。死んだ者は、罪から解放されています。わたしたちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きることにもなると信じます。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 12章 24節

『はっきり言うておく。一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。』

聖書⇒ローマの信徒への手紙 6章 11節

『このように、あなたがたも自分は罪に対して死んでいるが、キリスト・イエスに結ばれて、神に対して生きているのだと考えなさい。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 4章 11節

『女は言った。「主よ、あなたはくむ物をお持ちでないし、井戸は深いのです。どこからその生きた水を手にお入れになるのですか。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 15章 53節

『この朽ちるべきものが朽ちないものを着、この死ぬべきものが死なないものを必ず着ることになります。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 1章 18節 (KH 兄)

『十字架の言葉は、滅んでいく者にとっては愚かなものですが、わたしたち救われる者には神の力です。』

聖書⇒聖書⇒コリントの信徒への手紙一 2章 2節

『なぜなら、わたしはあなたがたの間で、イエス・キリスト、それも十字架につけられたキリスト以外、何も知るまいと心に決めていたからです。』

礼拝讃美歌⇒151番（旧 206番）（TM 兄）

『ああ主よわれら』

礼拝讃美歌⇒133番（旧 209番）（KH 兄）

『十字架の苦しみ』

《建徳要旨》